

輪 島 市 福 祉 会

広報 **あての木園**

平成 25 年度 第 2 号

□■昭和 61 年 4 月

輪島市三井町に開設■□



法人の理念 **尊厳・共生・向上**

（輪島市福祉会 理事・監事の皆さん）

■ 理事・監事の任期（平成 25 年 9 月 4 日～平成 27 年 9 月 3 日） 理事：9 名 監事：2 名

理 事 長：中山 勝

理事長職務代理：岩崎 二千雄

理 事：前田 裕子、堀 秀知、濱中 勝利、上畠 忠雄、上野 吉邦、今井 善弘、田尻 佳代子

監 事：向 憲龍、古坊 忠善

■ 評議員の任期（平成 25 年 11 月 8 日～平成 27 年 11 月 7 日） 評議員：19 名

評 議 員：田浦 良弘、池端 晃、杉窪 厚子、曾又 博史、細川 正雄、平 誠子、谷 佳子

谷内 峻、池端 政義、坂本 春雄、石川 壽夫、平谷 康子、橋本 幸男、

北浜 陽子、七尾 幸子、山岸 順子、水上 裕次、柿本 兵三郎、浅見 登志夫

私たちは、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、地域社会と共に自立した生活を営むことができるように支援します。

私たちは、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上及び事業経営の透明性の確保を図ります。

法人の基本方針

1. 超高齢化が進むなか、高齢者を取り巻く環境の変化、介護保険制度を取り巻く厳しい情勢を踏まえ、当法人の役職員が社会福祉法人の使命や自ら果たすべき役割を再確認し、介護者としての本旨にたちかえり高齢者福祉の進展に寄与します。
2. 地域の方々の社会福祉支援を目的に、誠心誠意のサービスに努めます。
3. 個人の尊厳を保持しつつ、介護サービスが「いつでも・どこでも・だれでも」利用できるよう努めます。
4. すべての役職員は、倫理・理念を遵守し、専門性を高め、地域の一員として社会福祉の充実を目指します。

平成 25 年度 第 2 号 ～もくじ～

02P ■平成 24 年度 決算報告

03P ■事業報告

05P ■平成 25 年度 事業計画進捗状況

11P ■ボランティア募集■善意のご寄付者・ご寄贈者

12P ■あての木園職員募集のご案内

13P ■訪問入浴介護サービスのご案内

15P ■配食サービスのご案内■輪島市元気デイサービス
のご案内

16P ■介護フェスタのご案内■「健康づくり教室」「お食事会」「施設見学及び福祉機器見学会」「懐かしの映画上映会」「除雪応援隊」のご案内

■□■□ 平成 24 年度 決算報告 □■□■

貸借対照表

平成 25 年 3 月 31 日現在（単位：円）

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	261,624,032	流動負債	25,160,972
現金	0	未払金	14,119,437
預金	171,990,358	預り金	11,041,535
未収金	87,553,678	仮受金	0
前払金	2,079,996	前受金	0
固定資産	1,316,118,164	固定負債	78,400,000
基本財産	725,303,972	施設資金借入金	78,400,000
建物	725,303,972	負債の部合計	103,560,972
その他の固定資産	590,814,192	純資産の部	
土地	0	基本金	215,509,000
建物	7,807,663	国庫補助金等特別積立金	455,404,821
構築物	566,501	国庫補助金等特別積立金(整備時分)	455,404,821
機械及び装置	49,861,665	その他の積立金	491,970,000
車両運搬具	2,425,336	移行時特別積立金	0
器具及び備品	38,183,027	施設拡充等積立金	483,970,000
移行時特別積立預金	0	輪島市福祉会基金	8,000,000
移行時減価償却特別積立預金	0	次期繰越活動収支差額	311,297,403
施設拡充等積立預金	483,970,000	次期繰越活動収支差額	311,297,403
輪島市福祉会基金	8,000,000	(うち当期活動収支差額)	△47,552,964
		純資産の部合計	1,474,181,224
資産の部合計	1,577,742,196	負債及び純資産の合計	1,577,742,196

脚注

- | | | |
|-------------|--|--|
| 1 減価償却費の累計額 | 669,532,270 円 | 2 基本金及び国庫補助金等特別積立金の取崩 |
| 2 徴収不能引当金の額 | 円 | 国庫補助金等特別積立金の取崩 |
| 注記 | | 国庫補助金等特別積立金の対象となつた固定資産の減価償却相当額の取崩 |
| 1 重要な会計方針 | | |
| (1)会計処理方法 | 「指導指針」の科目に「会計基準」
の科目を適宜適応させ財務諸表として計上している。 | 22,569,151 円 |
| (2)減価償却の方法 | 定額法による。 | |
| | | 3 担保に供せられている資産の種類及び金額
基本財産建物 725,303,972 円 |
| | | 4 担保している債務の種類及び金額
独立行政法人福祉医療機構借入金
78,400,000 円 |

収支計算書

(自)平成 24 年 4 月 1 日～(至)平成 25 年 3 月 31 日
(単位：円)

勘定科目	金額
経常活動収入	564,945,240
経常活動支出	590,769,952
経常活動資金収支差額	△25,824,712
施設整備等収入	0
施設整備等支出	6,592,000
施設整備等資金収支差額	△6,592,000
財務活動等収入	116,583,601
財務活動等支出	77,100,000
当期資金収支差額合計	39,483,601
当期資金収支差額合計	7,066,889
前期末支払資金残高	229,396,171
当期末支払資金残高	236,463,060

事業活動計算書

(自)平成 24 年 4 月 1 日～(至)平成 25 年 3 月 31 日
(単位：円)

勘定科目	金額
事業活動収入	586,510,600
事業活動支出	631,346,810
事業活動収支差額	△44,836,210
事業活動外収入	1,003,791
事業活動外支出	1,764,000
事業活動外収支差額	△760,209
特別収入	50,900,000
特別支出	52,856,186
特別収支差額	△1,956,186
当期活動収支差額	△47,552,605
前期繰越活動収支差額	333,284,963
次期繰越活動収支差額	311,297,403

■■■■ 事業報告 ■■■■

1) 特別養護老人ホーム

延べ利用者数は 35, 118 人、1 日平均は 96. 21 人でした。

区分	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
特養	35, 296	35, 206	35, 118
短期	7, 335	7, 242	7, 195
合計	42, 631	42, 448	42, 313

2) 短期入所センター

延べ利用者数は 7, 195 人、1 日平均 19. 71 人、送迎回数は 1, 419 回でした。

区分	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
短期	7, 335	7, 242	7, 195
送迎	1, 200	1, 244	1, 419

3) デイサービスセンター

延べ利用者数 6, 590 人、1 日平均 19. 97 人で介護予防は 1, 547 人、介護保険は 4, 792 人、輪島市元気デイは 251 人でした。

区分	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
介護保険	5, 205	5, 235	4, 792
介護予防	1, 986	1, 812	1, 547
元気デイ	205	219	251
1 日平均	22. 3	21. 89	19. 97
合計	7, 396	7, 266	6, 590

4) 訪問介護センター

『一人ひとりの思いを実現させる施設を目指す』皆様のご支援で特養 27 周年・デイ 22 周年
延べ利用者数は 2 1 3 人で介護予防が 4 9 人、訪問回数は 2, 5 6 0 回でした。

区分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	平成 2 4 年度
介護保険	3 4 4	3 0 3	2 1 3
介護予防	9 9	6 8	4 9
訪問回数	6, 4 3 2	5, 2 2 9	2, 5 6 0

5) 訪問入浴介護センター

輪島市訪問入浴サービス事業（在宅身体障害者への入浴サービス）は 0 人、介護予防の利用者は 0 人、介護保険の延べ利用者は 1 9 0 人、実施回数は 6 5 6 回でした。

区分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	平成 2 4 年度
実 利 用 者 数	2 9 7	2 7 0	1 9 0
介護保険利用者数	9 5 8	9 3 1	6 5 6
介護予防利用者数	0	0	0
輪島市入浴利用者数	0	0	0

6) 居宅介護支援事務所

介護予防の延べ利用者数は 2 2 0 人、介護保険の延べ利用者数は 1, 0 2 6 人、要介護認定訪問調査実施件数は 7 7 件でした。

区分	平成 2 2 年度	平成 2 3 年度	平成 2 4 年度
介護保険	1, 1 4 5	1, 1 2 7	1, 0 2 6
介護予防	2 6 6	2 4 4	2 2 0
訪問調査	1 0 0	1 0 5	7 7

■ 活動報告

特別養護老人ホーム入居者の要介護状態区分について

〔平成 25 年 3 月 31 日現在〕

区分	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
男性	1	3	2	8	7	2 1
女性	2	1	8	2 3	4 4	7 8
合計	3	4	10	31	51	99

■ 研修状況

【職場外】介護報酬改定からみる施設のとりべき経営戦略、石川県老人福祉施設協議会総会、デイサービスセンター総会、職場内研修担当者研修（基礎編）、介護職員等によるたんの吸引等の実地のための研修指導者養成講習（不特定多数の者）、介護職員等によるたんの吸引等の実地のための研修（不特定多数の者）、経営講座Ⅰ 法人運営研修、老人施設職員階層別（技術編）、新任職員研修、介護実習指導担当者等スキルアップ研修、東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会「岐阜大会」、介護支援専門員研修専門課程Ⅱ-2、福祉用具専門相談員指定講習会、経営講座Ⅱ 労務管理、経営講座Ⅲ 人事管理研修、石川県老人福祉施設協議会施設長会、経営講座録Ⅳ 財務管理研修、主任介護支援専門員研修、「超高齢社会における労働災害防止対策・健康保持増進対策」説明会、経営講座Ⅵ財務管理研修（初任者研修）、「ほのぼの」NEXTバージョンアップ内容説明会、石川県老人施設職員研究会議、新年社会福祉施設経営者セミナー、「多様な介護サービス導入普及事業」に係る研修報告会、福祉サービス事業者に対する集団指導、施設サービス計画策定研修、石川県老人福祉施設協議会施設長事務長研修会、社会福祉法人新会計基準説明会、認知症の理解と家族支援スキルアップ研修、身体拘束廃止推進員養成研修、特定給食施設等調理担当者研修会、特定給食施設等栄養士

研修会、福祉プレミアム研修、リスクアセスメント担当者養成講習会、事故防止対策事業における講演会、コーチングの基礎と実践、要介護施設従事者等による高齢者虐待防止研修会、石川県デイサービスセンター協議会第 1 回職員研修会、石川県デイサービスセンター協議会第 2 回職員研修会

【職場内】救急救命講習会、オムツのあて方講習会、感染症予防研修、食中毒予防講習会、医療・介護職に必要な口腔ケアの基礎知識、経営講座Ⅲ人事管理研修、資格取得促進研修、法人の理念の実現のために、非常災害研修、理念の実現について、職員の健康管理について、石川県防災総合訓練について、職員の健康管理について、交通安全について、オムツのあて方講習会、嘔吐物の対応の仕方について、救急救命講習会、介護接遇の基本と実践、移乗介助の仕方及び腰痛体操の講習会、拘束・虐待防止・感染症予防・理念の実現に向けて、『尊厳・共生・向上』の原点を理解する、研修報告、あての木園実践研究大会

■□■□ 平成 25 年度 事業計画進捗状況 □■□■

私たちは、平成 25 年度の課題に対して目標を設定し、以下の内容について重点に取り組みます。**①笑顔で丁寧なサービス（接遇・一人ひとり合わせたサービスの提供）②地域支援（専門機能の地域還元・地域交流）③協調性のある組織（お互いを思いやる組織・職員間の連携）**

■ 事業所全体

課 題	実 施 内 容
笑顔で丁寧なサービス	■在宅サービスの提供量の拡大 ■認知症高齢者に対するサービスの創設や若年性認知症の方へのサービス向上 ■施設間実習の受入及び派遣により、認知症高齢者のサービスの質を高める
地域支援	■相談事業の開始と民生委員や地域包括支援センターとの連携を図り、一人暮らし・老夫婦世帯の支援（三井地区・河原田地区）■地域行事やボランティア活動への参加 ■広報活動
協調性のある組織	■男性職員と女性職員のバランスを図る ■資格取得のための助成の継続 ■専門職の配置 ■メンタルヘルス研修の継続

■□■□ 配食サービス □■□■（平成 25 年 5 月 1 日 輪島市より指定を受け事業開始）

区分	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	合計
登 録 者 数	1	1	2	2	3	4	—
実利用者数	1	1	2	1	2	3	—
配 食 数	9	1	38	53	78	113	292
実 施 日	9	1	21	31	30	31	123
一 日 平 均	1	1	1.8	1.7	2.6	3.6	2.4

- 利 用 者 の 状 況 一人暮らし及び日中独居の要介護・要支援認定を受けている方
□配食サービスの実施状況 昼・夕の 1 日 2 回利用者の希望に応じて実施
□目 指 し て い る も の 安否確認・在宅生活の支援・365 日の毎日・1 日 10 食の提供

■□■□ 地域支援 □■□■

日時：平成 25 年 6 月 27 日（木曜日）午前 9 時 20 分～11 時 40 分

場所：輪島市立河原田公民館

対象：地域の高齢者（地域の自主的な高齢者支援活動参加者） 5 名

■ 健康づくり教室（午前 9 時 20 分～9 時 40 分）指導：柿木歯科衛生士

平成 25 年度（平成 25 年 12 月発行）
『一人ひとりの思いを実現させる施設を目指す』皆様のご支援で特養 27 周年・デイ 22 周年

○お口の体操・入れ歯の手入れ・歯の磨き方・口から食べることの重要性

■ 懐かしの映画上映会（午前 10 時～11 時 40 分） 愛染かつら



日時：平成 25 年 7 月 23 日（火曜日）午後 1 時 30 分～4 時 00 分

場所：輪島市立河原田公民館

対象：地域の高齢者（地域の自主的な高齢者支援活動参加者）13 名（男性 7 名・女性 6 名）

■ 健康づくり教室（午後 1 時 30 分～1 時 45 分） 指導：三谷管理栄養士

○水分摂取、栄養摂取の重要性

■ 懐かしの映画上映会（午後 1 時 50 分～3 時 50 分） 釣りバカ日誌



日時：平成 25 年 8 月 15 日（木曜日） 14:30～18:10

場所：三井集落センター



（三井集落センターにて）

■ フェスティバルにデイサービス利用者の手縫いの雑巾を配布しました



■ あての木園デイサービスセンター利用者の自立支援のために雑巾縫いを行っております。

■ タオルはボランティアの方から寄付をしてもらいました。

■ あての木園デイサービスセンターは利用者の健康と心身機能の維持向上を図ります。

■ あての木園デイサービスセンターは在宅生活を支援致します。



平成 25 年度（平成 25 年 12 月発行）

『一人ひとりの思いを実現させる施設を目指す』皆様のご支援で特養 27 周年・デイ 22 周年

日時：平成 25 年 9 月 25 日（水曜日）午前 10 時～12 時

場所：輪島市港コミュニティセンター

対象：地域の高齢者 23 名（男性 5 名・女性 18 名）

■ 健康づくり教室 指導：施設長

■ 懐かしの映画上映会 君の名は 第 3 部



～健康づくり教室～

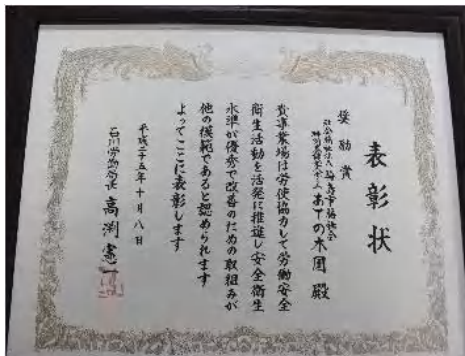
知っているのと得をする自立支援介護

□ 日時 平成 25 年 10 月 22 日（火曜日）午前 10 時 10 分～11 時 30 分

□ 場所 町野支所

■ 科学的介護の実践について

■□■ 平成 25 年度 産業安全衛生石川県大会 石川労働局長 奨励賞 受賞 □■□



表彰の目的

安全衛生成績が極めて高い水準に達し他の模範と認められる優良事業場又は企業、長年にわたり労働安全衛生に尽くし安全衛生水準の向上発展に多大の貢献をした功労者等に対し石川労働局長表彰を行い、その努力を讃えるとともに、これを県民に周知することにより、安全衛生意識の高揚等を図り、もって労働者の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成の促進に資することを目的としています。

奨 励 賞（石川労働局 HP より）

地域の中で、安全衛生に関する水準が良好で改善のための取組みが他の模範と認められる事業場又は企業に対する表彰とする。

表彰事由の概要（石川労働局 HP より）

腰痛災害を防止するため、介護機械器具の使用を推進しており、職員全員に腰痛予防の知識を習得させる機会を設け、腰痛予防のためのストレッチを取り入れるなどして腰痛予防に積極的に取り組んでいる。転倒災害防止のため、床材を滑りにくいものに張替えるなど、設備等の改善を実施するなど、積極的な安全管理活動を展開している。リスクアセスメントの導入を始めている。

■□■□ 自立支援介護・科学的介護（介護力向上）の取り組み □■□■



講師 国際医療福祉大学大学院 教授 竹内孝仁 氏

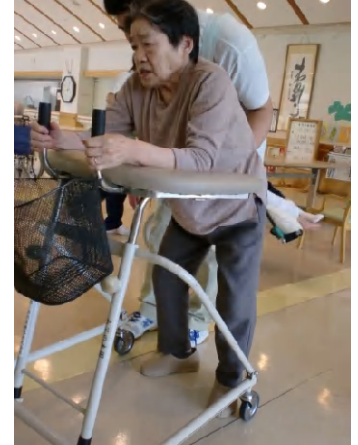
竹内孝仁先生講演概要

高齢者ケアの基本は、水をしっかり飲んで、普通の食事をとり、運動し、自然な排便を促すことだ。水はいのちの源であり、水によって細胞は活性化される。

おむつ外しが特養に対する世間の認識を変える。

今、おむつ着用の全国平均は 60%だが、おむつゼロ施設が、全国で 20 数施設名乗りを上げている。一方で、おむつゼロが実践できない施設がある。実現しても継続が難しいという施設がある。なぜか。プロではないからだ。科学性を見いだすことに面白みを感じ、繰り返しの中で学び進化し、自らプロになることこそ必要だということを、しっかりと認識しなければならない。

日中おむつゼロとは**トイレで排便**するということ。だから**下剤を中止**する。下剤を使わずに便秘を治すには、規則的生活、常食、食物繊維、水分 1500cc 以上、運動、定時排便、座位排便の 7 つのケアが大事。そして**水こそが便秘の特効薬**である。認知症の夜間せん妄は水不足によるものであり、水分摂取を増やすと日中は覚醒し、夜間は良眠を得られる。**脱水と便秘を防ぐことが認知症ケアの基本**である。



あての木園（特別養護老人ホーム）の実践報告

『水分』 1 日 1 5 0 0 ml またはそれ以上飲むこと

『食事』 1 日 1 5 0 0 kcal と普通の食事を食べること

『排便』 毎日～2・3 日に 1 回、自然に排便すること（下剤を使わずに）

『運動』 移動は歩行が主

講習会参加の 6 月からは水分ケアとして、1 日 1 5 0 0 ml 以上の水分摂取に取り組んでおり、お茶、牛乳、コーヒー、ジュース、寒天ゼリー、ポカリスエット、麦茶等様々な飲み物の提供をしています。

8 月からは入居者の皆さん全員対象に取り組んでおりますが、なかなかうまくはいきません。

第 2 回目の講習会参加により 8 月から取り組んでいる課題は

①排便はトイレで ②歩行・歩行練習 ③下剤の中止（下剤を使わない生理的排便ケア）の 3 点です。

竹内孝仁先生によると要介護 4 の方までは全員なんらかの歩行が可能（実用性のある歩行であるかどうかは問わない）であり、要介護 5 の方の歩行は、その施設の介護の実力によるそうです。

サービスに関わる職員のチームワークで一人でも多く、トイレで排便ができる方や下剤を使用しなくても自然排便出来る方、歩行ができる方を増やしていきたいと思っております。

■□■□ 『各施設における支援の取組みについて』～実践の中から支援を学ぶ～ □■□■

日時：平成 25 年 7 月 7 日（日曜日）13 時～16 時 場所：輪島市文化会館 3 階 小ホール



事例提供 『昼間、起きていることによって夜間はぐっすり眠れる取り組み』

特別養護老人ホーム あての木園 介護福祉士 谷内 朝子

助言 能登北部医師会（伊藤英章医師）

石川県歯科医師会輪島支部（廣江雄幸歯科医師）

わじまケアネット連絡協議会の目的

安心して住み続けられる輪島市を目指すため、介護・医療等の関係のネットワークの構築を図り、継続的・包括的ケアを提供する

（施設部会研修会の目的）

輪島市を中心とした 8 施設が日頃の施設での取り組みの実践を再評価し、お互いに情報交換をすることにより、地域に即した利用者支援の新たな取り組みを試みております。

本研修会では、施設の様々な取り組みを医師からの医学的視点を参考にしながら、利用者本位のサービスに対応できる施設づくりや、ニーズへの即応力を学ぶと共に、自立支援の方法や看取りについて理解するために開催しました。

□■□■ 初期消火訓練（年 1 回） □■□■



5 月 3 1 日（金曜日）午後 1 時 3 0 分から午後 2 時にかけて、消火器の取り扱い訓練と消火訓練、屋内消火栓を用いた消火訓練を行いました。今までは初期消火の訓練と誘導避難訓練を同じ日に行っていましたが、じっくりと初期消火訓練を行うために別に行いました。出来るだけ多くの職員に消火器及び屋内消火栓操作を体験してもらいました。

□■□■ 救急救命講習（年 2 回） ■□■□



毎年 5 月と 1 0 月に新人職員やベテラン職員を対象に救急救命講習を実施しております。A E D の使用方法（※当施設には A E D が 2 台あります）や胸骨圧迫、救急車の要請手順、意識のない方を発見した時の一人での対応方法など、輪島消防署の救急救命士から指導を受けております。迅速な対応が常に行えるように努力しております。

■□■□ 日中想定総合防火訓練（年 1 回） □■□■



6 月 1 2 日（水曜日）午後 2 時 3 0 分から 3 時にかけて、日中の火災を想定して総合防火訓練を行いました。

訓練の内容は午後 2 時 3 0 分、洗濯室から出火、それを発見した介護職員が非常通報ボタンを押し、事務室に火災の報告、事務員は非常放送により火災の案内と避難場所の案内・消防署に非常通報、放送を聞いた男性介護職員・生活相談員は出火場所に行き消火器による初期消火、他の介護職員は出火場所近くの居室から避難誘導を開始、調理員と事務員は非常持ち出しの搬出、看護職員は避難者の救護にあたりました。避難場所は正面玄関前駐車場で、特別養護老人ホーム入居者、短期入所利用者、デイサービス利用者の約 1 4 0 名、職員約 5 0 名は出火から 9 分間で全員無事避難することができました。訓練終了後、輪島消防署・三井駐在所の皆さんから講評を頂きました。日頃からの訓練や防災意識が必要と再確認しました。

■□■□ 県民一斉防災訓練「シェイクアウトいしかわ」 □■□■



■ 7 月 5 日（金曜日）石川県が大規模地震を想定した県民一斉防災訓練「シェイクアウトいしかわ」に参加

石川県に訓練登録をし、実施するにあたり、輪島市防災対策課の職員に職員全体会議（6 月 28 日）で職員に対し訓練の概要を説明してもらいました。『訓練の対象者は利用者及び職員を含めて行いますが、くれぐれも訓練により利用者の方が怪我などをしないように配慮してほしい』との注意事項を踏まえ当日訓練に臨みました。



特別養護老人ホームの入居者や短期入所センター、デイサービスセンターの利用者、当日出勤の職員は、午前 11 時 30 分に非常放送やメールをうけ全館放送で訓練開始の合図で実施しました。「しゃがむ、隠れる、じっとする」の 1 分間の訓練でしたが、事故なく無事終了する事ができました。災害に対する日頃の取り組みが必要と感じております。

■□■□ 夜間想定総合防火訓練（年 1 回） □■□■



9 月 20 日（金）午後 6 時 15 分に夜 11 時に火災発生を想定した総合防火訓練を行いました。夜間の介護職員は 5 名、宿直員 1 名の合計 6 名で 100 名以上の入居者の避難誘導は日頃の連携が必要となります。また、あての木園防災協力隊（約 30 人）も避難誘導訓練に参加してもらいました。非常災害時に必要な知識や経験を積んで不測の事態に安全に避難誘導が行えるように努めます。

■□■□ あての木園防災協力隊 □■□■



あての木園防災協力隊は三井地区の市ノ坂地区、新保地区、小泉地区の 29 歳から 79 歳の男性を中心に 47 名で構成されたボランティア組織（橋本勝男会長）です。その目的は施設を火災その他非常災害から守るためです。

地域の皆さんの協力を頂き感謝しております。

（※左の写真 車いす操作訓練を学んでいる様子です）

■□■□ 平成 25 年度 石川県原子力防災訓練 □■□■



（災害時要援護者避難支援訓練及び福祉避難所設置・運営訓練実施）

11 月 16 日（土曜日）午前 9 時 30 分～11 時 30 分

内容：原子力防災訓練にあわせ 1 次避難所から要援護者 2 名を受入し、輪島市の指導を受けながら福祉避難所設置と運営する訓練を行いました。

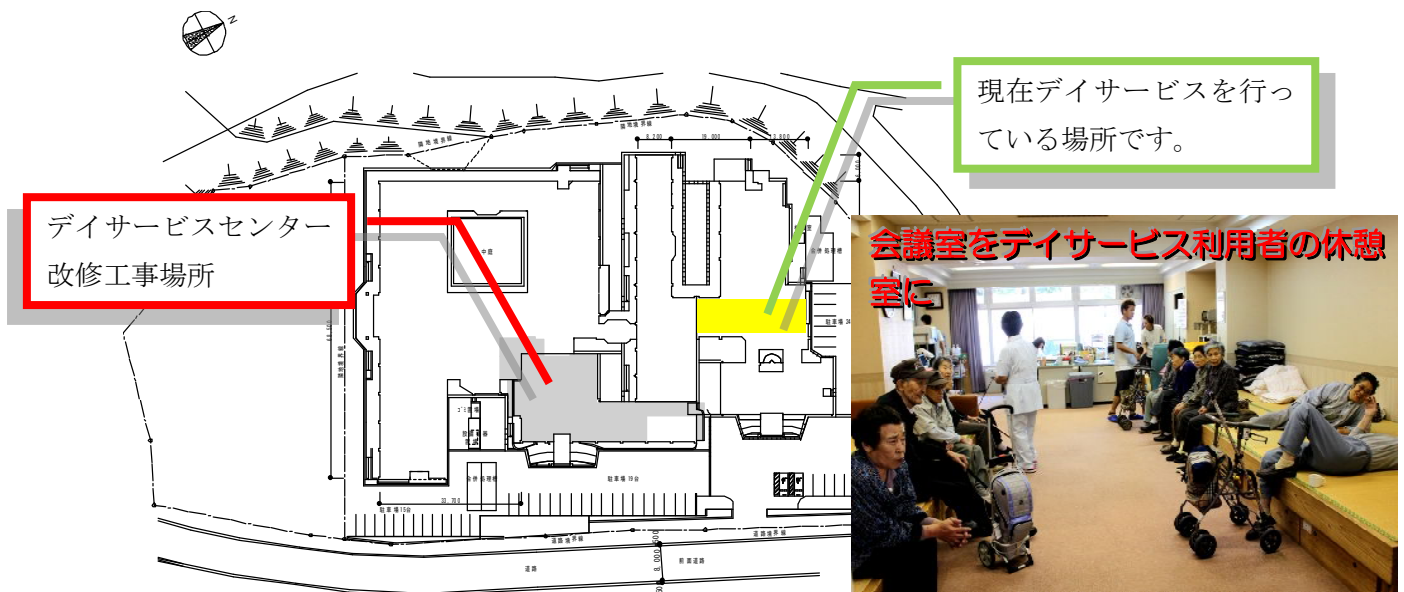
輪島市と反省会（訓練終了後お互いに意見交換）



11 月 26 日（火曜日）職員に対し福祉避難所設置運営訓練の報告会を行いました。福祉避難所の設置準備、要援護者の引受、福祉避難所閉鎖の準備等、訓練に参加した職員が中心となって説明を致しました。2 次避難所である福祉避難所のスムーズな運営のため年 1 回以上は訓練をしたいと思っております。

■□■□ デイサービスセンター改修工事 □■□■

（工期：平成 25 年 10 月 7 日～平成 26 年 1 月 31 日）



改修内容は以下の通りです

1. 浴室・脱衣室改修工事（個浴室設置、機械浴設置）
2. トイレ廻り改修工事（トイレ改修、洗濯介護材料室新設、女子更衣室新設、在宅倉庫新設）
3. 食堂廻り改修工事（システムキッチン新設、事務廻り改修）
4. 旧展示コーナー廻り改修工事（休養室設置、男子更衣室設置、相談室設置）
5. 廊下廻り改修工事（廊下仕上改修）
6. 避難スロープ改修工事（避難スロープ更新）
7. 照明器具取替え工事（LED 交換（改修箇所））
8. 空調改修工事（空調改修（改修箇所））
9. 給湯改修工事（電気式給湯に更新）

デイサービスセンターのリニューアルオープンは平成 26 年 2 月を予定しております。

■□■□ ボランティア募集 □■□■

ボランティア活動の内容は以下の通りです。

- 行事等のお手伝い ○利用者との話し相手 ○買い物等のお手伝い ○クラブ活動の講師やお手伝い
- 踊りや唄の披露 ○草むしり、除雪、シーツ交換、清掃等の施設内の環境整備等 ○その他

ボランティアをやってみたいと思われる方は

山崎（やまざき）特別養護老人ホーム(26 - 1661) 白崎（しろさき）デイサービスセンター(26 - 1910)まで

善意のご寄付者・ご寄贈者（平成 25 年 5 月～平成 25 年 11 月）

～皆様ありがとうございました。～

- あすなろ会 様 ○古坊 シサノ 様 ○関崎 吉郎 様 ○北出 美代子 様 ○箸倶楽部 様
- 平沢 和雄 様 ○岡本 省二 様 ○中村 良子 様 ○中路 雅博 様 ○村奈嘉 清 様
- 北濱 洋志 様 ○真宗大谷派能登教務所 様 ○輪島市立三井小学校 様
- 輪島市立三井中学校 様 ○輪島飲食店組合 様 ○輪島人権擁護委員協議会 様

■□■あての木園職員募集のご案内（平成 26 年 4 月 1 日採用）□■□

● 機能訓練指導員・・・・・・・・・・ 1 名

※理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の資格取得見込み・資格取得の方で昭和 54 年 4 月 2 日以降に生れた方です。（臨時職員でも可能です。臨時職員の場合は昭和 28 年 4 月 2 日以降に生れた方で随時募集をしています。）

● 介護支援専門員・・・・・・・・・・ 1 名

※介護支援専門員実務研修終了された方又は介護支援専門員の実務を経験している方、実務を経験したことがある方で昭和 38 年 4 月 2 日以降に生れた方です。

（臨時職員でも構いません。臨時職員又はパートの場合は昭和 28 年 4 月 2 日以降に生れた方です。随時募集をしています。）

● 看護師・・・・・・・・・・ 1 名

※看護師の資格取得見込み・資格取得の方で昭和 54 年 4 月 2 日以降に生れた方です。

（臨時職員又はパートでも構いません。臨時職員又はパートの場合は昭和 28 年 4 月 2 日以降に生れた方です。随時募集をしています。）

● 介護職員・・・・・・・・・・ 1 名

※介護福祉士・社会福祉士の資格取得見込み、資格取得の方で昭和 54 年 4 月 2 日以降に生れた方です。（臨時職員でも可能です。随時募集をしています。）

○ 夜間介護アルバイト（夜間介護職員）（随時募集しております）

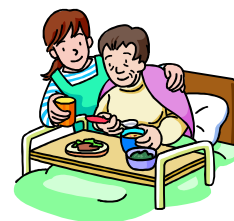
夕方 5 時～ 翌日 10 時まで（実労働時間 16 時間）（内休憩 1 時間）

※ホームヘルパー 2 級資格を保有している方は 1 回 18,600 円です。

※介護福祉士資格を保有している方は 1 回 20,200 円です。

問合せ先は・・・

特別養護老人ホーム あての木園 Tel (0768) 26-1661 （谷口）まで。



■ 賃金、諸手当、勤務時間、休日等

区分	賃金（基本給）・基本給以外の諸手当	勤務時間・休日・夜勤
機能訓練指導員	月給：短大・専門学校卒（158,800～）大学卒（170,700～） ※前歴換算あり 賞与：年 2 回（合計 3.8 ヶ月） 通勤・住居・扶養手当	8:30～17:30 4 週 8 休（年間 113 日）夜勤・宿直なし
介護支援専門員	月給：177,500～ ※前歴換算あり 賞与：年 2 回（合計 3.8 ヶ月） 通勤・住居・扶養手当	8:30～17:30 4 週 8 休（年間 113 日）夜勤・宿直なし
看護師	月給：短大・専門学校卒（158,800～）大学卒（170,700～） ※前歴換算あり 賞与：年 2 回（合計 3.8 ヶ月） 通勤・住居・扶養手当	早番・遅番 4 週 8 休（年間 113 日）夜勤・宿直なし
介護職員	月給：高卒（148,600～）短大・専門学校卒（158,800～） 大学卒（170,700～）※前歴換算あり 賞与：年 2 回（合計 3.8 ヶ月） 夜勤・通勤・住居・扶養手当	早番・遅番・夜勤 4 週 8 級（年間 113 日） 夜勤あり

※その他法人独自の資格取得助成制度、退職金上乘制度あり

■□■□ 訪問入浴介護サービスのご案内 ■□■□



自力で入浴が困難な方で、さまざまな理由で外出が難しく、家庭の風呂を使っでの入浴が困難な方のためにご家庭を訪問し、浴槽と担架をお部屋まで運び、入浴の提供を行うサービスです。



訪問入浴専用車



訪問入浴専用車



車両内



専用浴槽と担架（側面）



専用浴槽と担架（頭部）

■ 利用できる方は

- 要支援 1～要介護 5 の介護認定を受けていれば、軽介護度の方も可能です。
- 実施については担当の介護支援専門員（ケアマネージャー）等にご相談ください。

■ 実施について気になる点は

- 畳 2 畳分くらいのスペースがあれば、専用浴槽で入浴が可能です。
- 家の前まで車が入れなくても、状況に合わせて、ご自宅のお風呂のお湯を使用させていただき、ホースを伸ばして、機材をセットすれば可能です。

■ 実施前にセンターから確認したい点等・・・・・・・・

- ①利用者の身体状況の把握
- ②自宅の確認（寝室や専用浴槽を配置する部屋等）
- ③希望日や入浴回数の打合せ
- ④契約を結びます

■ サービスの流れ

- ①訪 問 スタッフ（看護職員含む）3 人がご家庭に訪問します。
- ②健 康 チ ェ ッ ク 看護職員が健康のチェックを行います。
- ③入 浴 専用の浴槽にて、洗髪・洗体いたします。
- ④上 が り 湯 上がり湯を行い、ベッドに戻り着衣していただきます。
- ⑤入浴後の健康チェック 看護職員が入浴による体調の変化がないか確認します。
（スタッフが介助させていただきます。）
- ⑥退 室

■ 入浴時に用意して頂きたい物

- ①バ ス タ オ ル 【3 枚程度】
- ②タ オ ル 【5 枚程度】 ※できれば、うち 1 枚は顔拭き用の小さいタオルを用意して下さい
- ③シャ ンプ ー 【必要であれば、リンスやコンディショナー】
- ④ボディーソープ 【固形石鹸でも構いません】
- ⑤バ ケ ッ 【洗濯物を入れるためです。ふたが無くても構いません。】
- ⑥入 浴 剤 【必要であればお願いします】

■ 利用料金（目安）

訪問入浴介護サービス費（看護職員同乗＝基本料金）		1, 250 円（1 回）
※入浴が困難で、清拭・部分浴を実施した場合		875 円（1 回）
訪問入浴介護サービス費（介護職員のみで実施した場合）		1, 188 円（1 回）
※入浴が困難で、清拭・部分浴を実施した場合		834 円（1 回）
加算	サービス提供体制強化加算	24 円（1 回）
	特別地域訪問入浴介護加算	介護サービス費に 15% 加算
	介護職員処遇改善加算（平成 27 年 3 月 31 日まで）	介護報酬に 1.8%（月）加算
	中山間地域等に居住する者へのサービス提供加算	三井、河原田地区を除く方の基本料金の 5% が加算されます

※特別地域加算減額認定証がある方は、10% 減額されます。

■在宅身体障害者等訪問入浴サービス事業も行っております。

○輪島市「食」の自立支援事業実施要綱に基づく

□■□ 配食サービスのご案内 □■□

（対象者）

輪島市に住所を有する方で、

- ① おおむね 65 歳以上の高齢者又は高齢者のみの世帯、これに準ずる世帯若しくは障害者のみの世帯に属する方で、食事の調理が困難な方
- ② 日中、要介護又は要支援認定を受けた方のみとなる世帯に属する方で、食事の調理が困難かつ他からの食事の提供が受けられない方
- ③ 市長が特に認める方

（費用）

○ 1 食 **400 円**【利用者の希望に応じ、**1 日につき 2 食（昼・夕）**まで提供します。】

（配達）

- 昼食＝午前 11 時から午後 1 時までの間
- 夕食＝午後 4 時から午後 6 時までの間



（食事の内容）

- 栄養バランスに配慮した普通食を提供し、1 食当たりの基準栄養量は、エネルギー量 600 キロカロリー、塩分 4 グラムを目安として調理します。
- 減塩食、刻み食などの特別食及び季節や行事に合わせた行事食にも対応します。
- おおむね 2 週間を単位として日替わりのメニューを提供するとともに、あらかじめ利用者に対してカロリー表示や塩分表示がされた献立表を配布します。

（緊急時の対応）

- 安否確認時等に利用者の心身の状態に異常があると判断したときは、直ちに市長その他の関係機関及びあらかじめ利用者が指定する緊急連絡先に連絡するとともに、必要な措置を講じます。

（事故発生時等の対応）

- 不測の事態が発生したとき、又は利用者に対する配食サービスの提供により事故が発生したときは、直ちに市長に報告するとともに、必要な措置を講じます。
- 利用者に対する配食サービスの提供により賠償すべき事故が発生したときは、速やかに損害賠償を行います。

■□■□ 輪島市元気デイサービスのご案内 ■□■□

個別サービス計画により、機能訓練等各プログラムを実施し、在宅生活の継続を支援します。

65 歳以上の方で、介護予防が必要であると市が認めた方

（1） 元気デイサービス

ア 実施内容

元気デイ援助員を配置し、次のプログラムを実施する。

- （ア） 運動器の機能向上（機器無し）プログラム
 - （イ） 入浴等日常動作訓練
 - （ウ） 趣味活動
 - （エ） その他のプログラム
- 輪島市介護予防・地域支援事業実施要綱より

□■□ 市民フォーラム介護フェスタのご案内 □■□

日時 平成 26 年 1 月 11 日（土曜日） 午前 10 時～午後 4 時

場所 輪島市門前会館

- ・介護相談・福祉用具展示紹介・健康相談・栄養食品紹介・認知症予防相談
- ・認知症クイズ・施設入所者作品展・配食サービス紹介
- ・健康体操指導・軽食・コーヒー・認知症理解

記念講演

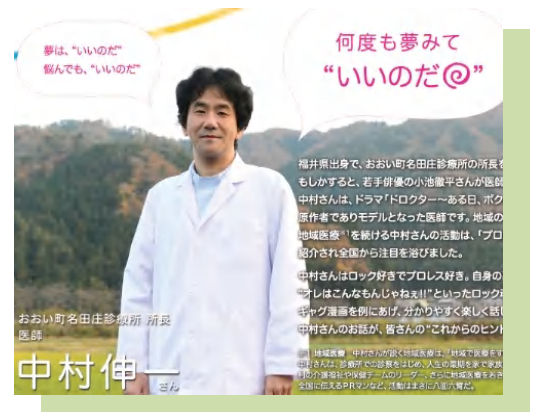
自宅で大往生

～住み慣れた地域で最後まで生きるために～

寄りそい医からの提案

おおい町国保名田庄診療所 所長 中村 伸一 医師
(自治医科大学地域医療学 臨床教授)

お誘い合わせの上ご参加下さい。



■□■「健康づくり教室」「お食事会」「施設見学及び福祉機器見学会」「懐かしの映画上映会」「除雪応援隊」のご案内 ■□■

専門職のスタッフを派遣して以下の健康づくりのための教室を開催します。

■認知症の理解 ■認知症予防について ■認知症の方の介護について ■介護の方法 ■口から食べることの重要性 ■入れ歯のケア方法 ■歯の磨き方 ■お口の体操 ■食生活の相談・指導 ■介護食の紹介・相談 ■介護予防（リハビリ体操） ■介護保険制度について ■総合相談

会食会・試食会はどなたでも申込みできます。

地域の会合の時に食べてみたい。	1食 400円	配達込・弁当・みそ汁付
あての木園に来て食べてみたい。	1食 500円	利用者と同じ食事を提供します

施設見学及び福祉機器見学会

■入浴体験（檜風呂・家庭風呂・機械浴）■入浴機器の見学 ■車いすや歩行器、ベッド等の福祉機器の見学 ■訪問入浴車の操作見学 ■福祉車両の見学 ■特別養護老人ホーム見学 ■短期入所センターの見学 ■デイサービスセンターの見学

懐かしのテレビドラマや映画観賞会

- 水戸黄門名作選■杉良太郎の魅力 遠山の金さん 江戸の一ばん星■忠臣蔵 桜花の巻・菊花の巻
- 大岡越前（第1部 DVD7 枚組 全 28 話）■おしん完全版【少女編】■天皇皇后両陛下（ご結婚五十周年をお迎えになって）■君の名は■愛染かつら■裸の大將■釣りバカ日誌

除雪応援隊

一人暮らしや老夫婦世帯のためや雪がひどくて外出ができない等の理由で除雪ができない方は除雪応援に参ります。

〒929-2378 石川県輪島市三井町小泉上野 2 番地 **あての木園**

☎(0768)26-1661・26-1910・26-1788 Fax(0768)26-1751・26-1778

E-mail atenoki@skyblue.ocn.ne.jp

特別養護老人ホーム、短期入所センター、デイサービスセンター、訪問介護センター、訪問入浴介護センター、居宅介護支援事務所、在宅介護支援センター、配食サービス